

### SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目(黄色マーク項目)は、必須記載項目です。  
 ・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

#### 【基本的な事項】

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	環境・ 社会・ 経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
人権・ 労働	1 【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	性別、年齢、人種、出身などで差別をすることなく、それぞれの適性を活かした組織づくりをしている。					○			○		○							○	
	2 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	ハラスメントの監視のため、従業員個別面談を行っている。					○			○										○
	3 【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	一部のスタッフに負担が集中しないために、多能工制を敷いている。 業務の効率化を図るための資材、備品などを積極的に購入し、業務短縮に取り組んでいる。									○									
	4 【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	外国人労働者を日本人の契約条件と同様の形で積極的に採用し、その語学力を活かすなどスキルが発揮できる業務を分担している。					○				○		○							
	5 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	手順書やルールブックで、安全、衛生に関するルールと具体的な取り組みを明記し、実行している。					○				○									
	6 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	年2回、スタッフ全員と個別面談を行い、コミュニケーションの促進をしている。					○													
	7 【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	多様性がもたらすスキルに応じた適正な業務割り振り、組織づくりを実践している					○				○		○							
	8 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	従業員の衛生管理の記録を手順書に定め、実行している					○				○									
	9 【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、 経済	全スタッフに、個人教育記録ファイルを用意し、研修等の記録を伸している					○				○	○								
	10 【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、 経済										○		○							

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	環境・ 社会・ 経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	ペットボトル削減のため、自動販売機を置かない。井戸水で水を積極的に活用し、ガラスのボトルをお客様に提供し、廃棄物の削減を行っている。 アメニティはフロントに設置し、必要な方が必要な分をお取り頂く事により、廃棄物の削減を図っている。											○	○		○					
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	省エネ、リサイクル、リユースへの取組を手順書に記載し、LED照明を積極的に使用し、シャンプーやリンスのミニチュアボトルを廃止してポンプ式の詰め替えタイプに変更している。							○						○						
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	バイオマスを積極的に使用し、アメニティには、土に降りやすい素材を採用している。							○						○	○					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	環境にやさしいヤシ油の食器洗剤を使用するなど、有害化学物質の削減に努めている			○			○						○	○						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	プラスチックごみを削減する活動として、バイオマスを使用し、土に降りやすいアメニティの使用や、シャンプーなどのミニチュアプラスチックボトルを廃止し、ポンプ式の詰め替えボトルに変更、環境にやさしいヤシ油の食器洗剤等を使用している。						○										○			
16	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	店舗の地下からくみ上げる井戸水や温泉水を積極的に活用している。						○													
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	グループ会社が取得しているISO9001の考え方を採用し、環境への配慮を要求事項として明文化し、浸透を図っている。			○			○	○					○	○	○	○				
18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	【予定】SDGsへの取り組みをホームページやSNSで発信する												○							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	焚火台、薪ストーブを数多く導入したうえで、森林から出てくる廃材を薪に加工して、お客様へ提供、活用している。							○						○						
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	建築時には、樹木に採番して、必要最小限の伐採になるように取り組んでいる。 枝落としや間伐で発生する樹木の廃材をアロマウォーターの原料にするなどのリサイクルに取り組んでいる。												○	○	○	○				
21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	お客様へガラスボトル(繰り返し使用)を提供。 自然から出てくる廃材をアロマウォーターなどにリユース。 古民家の建材や建具、庭石などを廃棄せず、形を変えて、建築に活用。						○						○	○	○	○	○			
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	マニュアル等で、関係各所との適切な関係づくりを明文化し、浸透を図っている。																	○		
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	競合他店との差別化をしっかりと行い、競争そのものを回避するという事業理念を従業員に徹底し、社内浸透を図っている。																		○	
24	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	マニュアル等で、活動・業務の記録を残すことを明文化し、スタッフへの浸透を図っている。									○	○									
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	個人情報取り扱いに関するルールや管理方法を手順書に定めている。																		○	
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会																			○	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	応用	社会	主要な取引先に関して、年1回、適正な関係性とパフォーマンスを評価し、チェックするシステムを敷いている。					○			○		○		○	○	○	○	○	○	○	

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	環境・ 社会・ 経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
28	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	幹部スタッフによる会議を定期的を実施し、手順書等で危険な行為が発生しないように徹底的に管理している。			○									○							
	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	お客様アンケート、グループ内品質管理事務局の監査を行い、品質管理のPDCAを 実践している。									○										
	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環 境	古民家の建材や建具、民具、庭石などを加工して活用している。							○					○	○	○	○				
	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経 済	自然を愛する心を学び、自然の中で達成感を提供するアクティビティ、非日常を体 験できる施設などを通して、人々が幸福になるための一助となる取り組みを目指し ている	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経 済	近隣住民の方々との交流を保ち、地域発展に向けて情報共有を行っている。 観光資源を提供している他社施設との連携。地元農家との連携。など				○					○		○	○		○	○		○		
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	【予定】地元のお祭り(火祭りなど)へー法人として参画。				○							○			○	○		○		
	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	応用	環境、社 会、経済	地元農家との連携。井戸水、温泉水の積極的活用。 同業類の他社(観光、飲食、アクティビティ提供)との連携。									○	○		○	○	○					
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	毎週行っているボード会議(店舗運営幹部と本部スタッフ)で、最新の情報を共有 し、手順書などに反映している。																		○	
36	【内部管理体制】 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社 会、経済	経営理念やSDGsの考え方と関連する形で、ISO9001の考え方に則り、「品質方針」 「品質目標」を設定。浸透を図っている。									○	○								○	
	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	毎週行っているボード会議(店舗運営幹部と本部スタッフ)で、監視している。																		○	
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されて いる	応用	環境、社 会	品質管理の担当者と責任者を、店舗の組織、ならびに、本部の組織に設定してい る。																			○
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備 されている	応用	社会、経 済	毎週行っているボード会議(店舗運営幹部と本部スタッフ)で、監視している。																			○
40	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility)の取組を進めている	応用	環境、社 会	地元での採用活動を積極的に行い、富士山麓の松林の保全に努めている。																		○	
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	従業員との定期的な面談会社本部マネジメントと毎週定例会議などで、ステーク ホルダーとのコミュニケーションを図っている。																		○	○
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社 会、経済										○		○		○				○		

